
【編集後記】

『現象と秩序』第6号をお届けします。巻頭の村中論文は、関西方言に関する研究です。本誌は、『執筆要領』にもあるとおり、人文科学・社会科学の多くの領域の議論に開かれています。また、抜刷代わりに著者の方にはPDF版の配布をおこなっており、そのコピー及び再配布は自由となっております。ふるってご執筆ください。2番目の榎田論文は、『保健医療社会学論集』27巻2号に掲載された「論文投稿支援ワークショップ」実施報告の4論文に関しての、コメントをまとめたものです。『保健医療社会学論集』の当該号は、2018年9月まではWEB公開されませんが（公開までの期間の短縮を検討中）、全国の多くの大学図書館には所蔵されています。本論文と一緒に見て頂けるとより活用しやすくなると思われます。3番目の山田・榎田論文は、吃音に関しての社会学的研究です。病因論や治療論とは別の社会学的研究が吃音に関して可能であることを証明しようとした論文です。「表1」だけでも見て、興味をもった「吃音者の工夫」に関して、その該当箇所を読んで頂けると幸いです。吃音はコミュニケーションの障害なので、その症状も、症状に対処するための工夫も、いずれも社会（学）的現象なのです。新領域開拓的研究は、本誌の得意とするところです。ご堪能下さい。最後の山崎・榎田論文も、新領域開拓的研究として載せています。日本語の文法や語彙が完全ではないインタビューイヤーであったとしても、使える資源を総動員して、意味の会話的達成を行おうとしています。その努力に応える社会学をなんとか構想し、実践したいと考えて書きました。

次号には、「学園都市的食文化を考える」という特集（仮題）が組まれる予定になっています。また、単発の論文としては、家族内会話をめぐる分析、車イスバスケットボール研究、ALS在宅療養研究等が載る予定です。ご期待ください。（Y.K.）

『現象と秩序』編集委員会（2017年度）

編集委員：榎田美雄（神戸市看護大学）、中塚朋子（就実大学）、堀田裕子（愛知学泉大学）

編集幹事：坂根杏奈（神戸市外国語大学）、平田菜津子（神戸市外国語大学）

編集協力・印刷協力：村中淑子（桃山学院大学）

『現象と秩序』第6号（第3版）

※改訂箇所：第1論文の表7と表9が頁をまたがっていたため行送りを修正した。（第2版）

改訂箇所：第1論文の表10と表12に「網掛け」が欠落していたのを復旧した。（第3版）

2017年 3月31日発行→2017年11月14日第2版発行（WEB版のみ、11～13頁のみ改訂）

→2019年2月22日第3版発行（WEB版のみ、13,14頁のみ改訂）

発行所 〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 榎田研究室 現象と秩序企画編集室

電話・FAX) 078-794-8074（榎田研）,e-mail: kashida.yoshio@nifty.ne.jp

PRINT ISSN : 2188-9848

ONLINE ISSN : 2188-9856

<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>